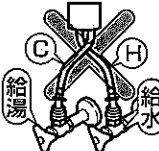
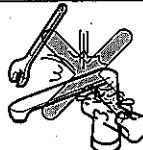
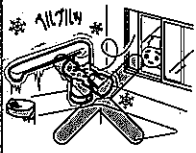
施工説明書

TOTO

台所用シングルレバー混合栓

ラディアシリーズ
TKR34P型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	内容
禁止	してはいけない「禁止」内容です。
分解禁止	分解しないでください。
必ず実行	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠注意

表示	内容
禁止	**湯水を逆に配管しないでください。** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
禁止	**給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。** 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
禁止	**強い力や衝撃を与えないでください。** 故障や水漏れの原因になります。

⚠注意

表示	内容
分解禁止	**水栓本体内部を分解・改造しないでください。** 故障や水漏れの原因になります。
必ず実行	**凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部に保温材を巻いてください。また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に行なってください。** 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

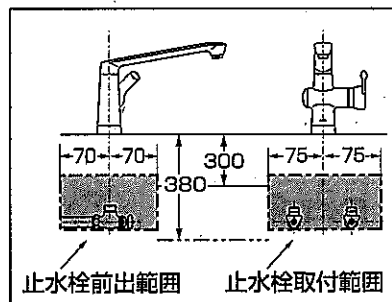
3 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。 快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

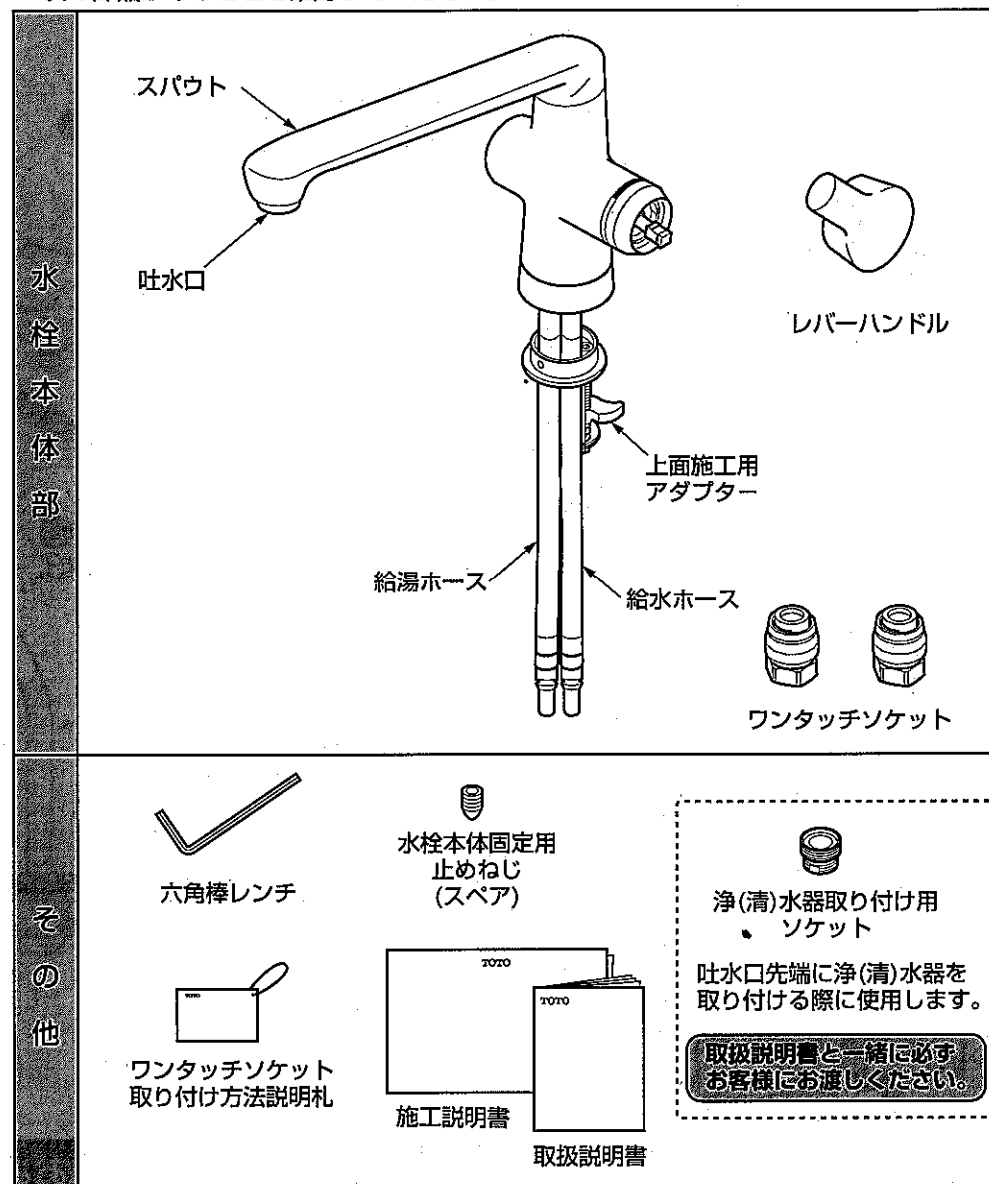
●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

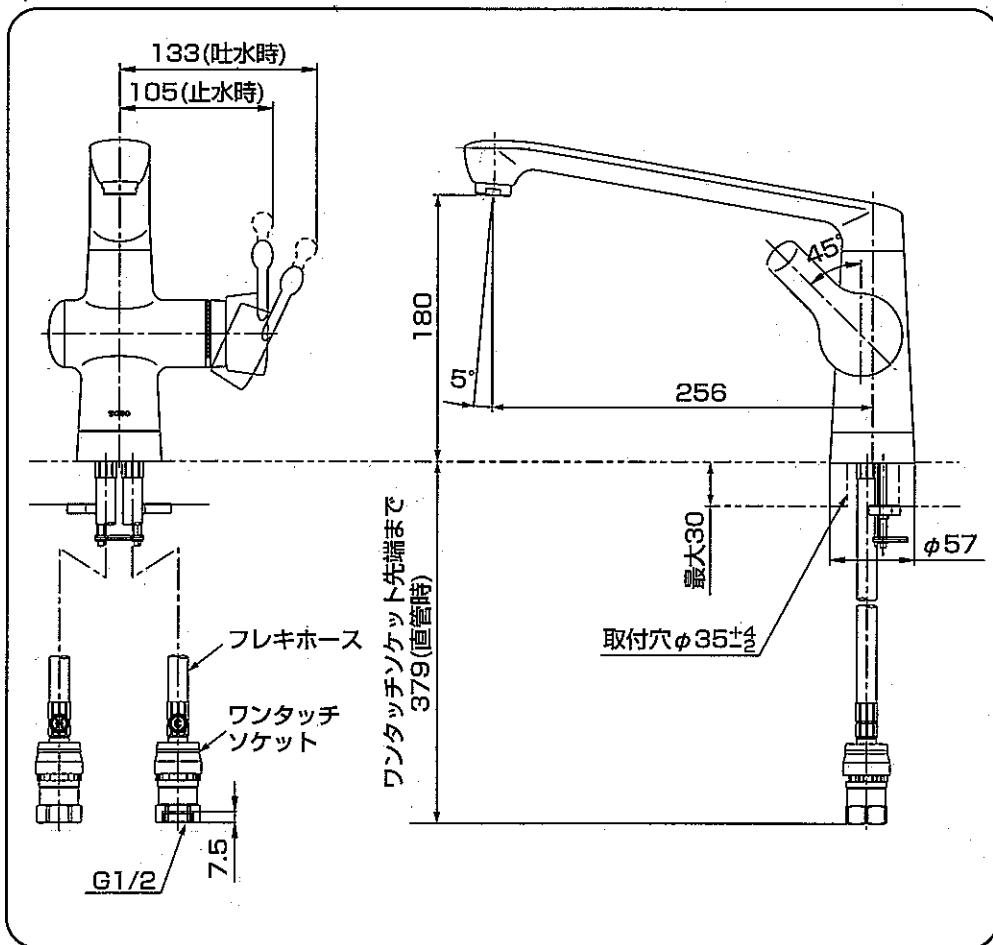
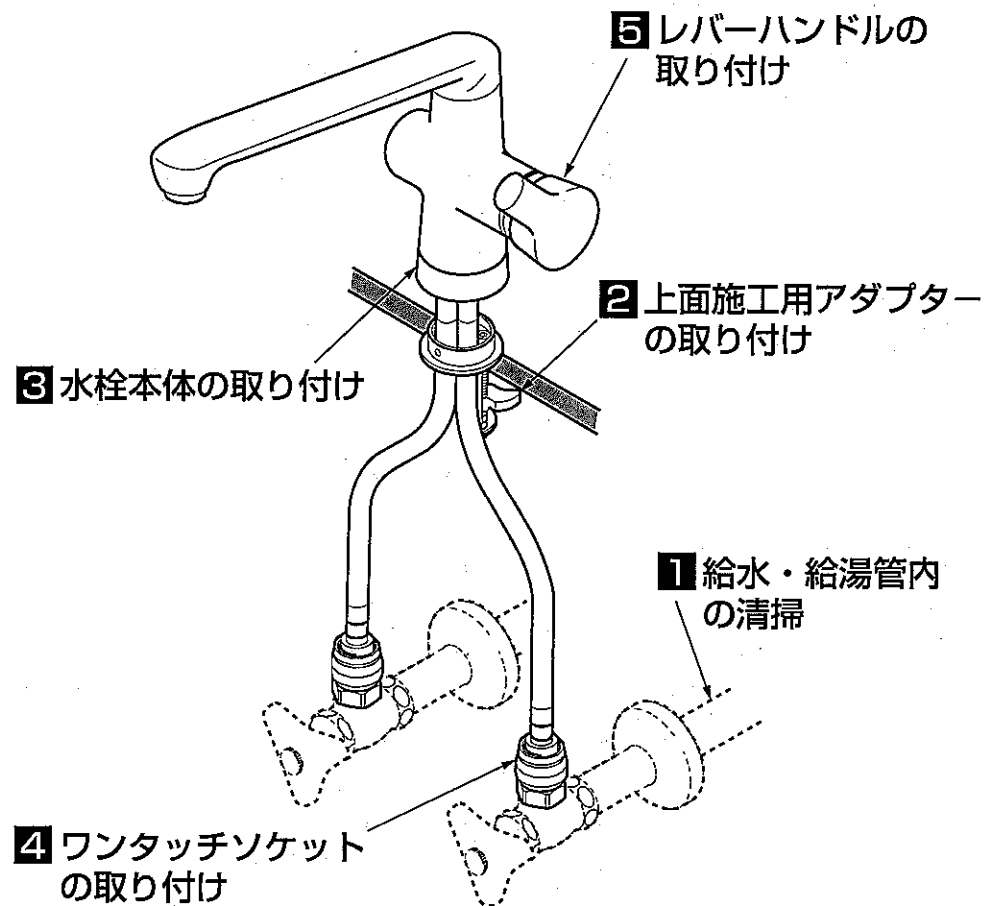
●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

6-1 施工手順

1 給水・給湯管内の清掃

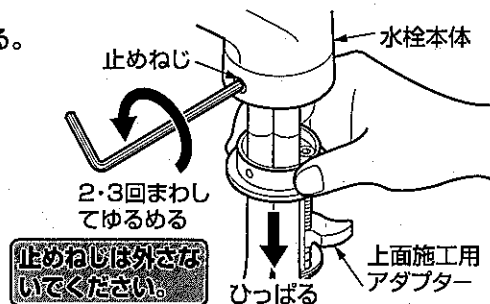
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

2 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

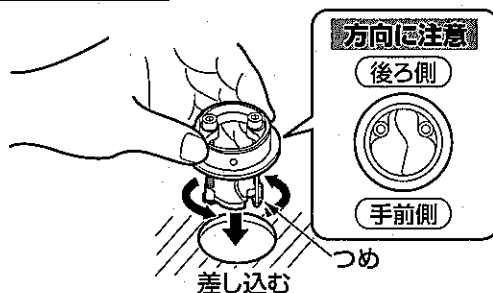
- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付けて**ください。
  カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板（合板など）を取り付けて**ください。
- 補強板が**十分乾燥した状態で取り付けて**ください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気を拭き取り**ドライヤーで乾かして**ください。
- 取り付け面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取り付け可能なカウンター穴径は**φ33～φ39**です。
- 電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを**2～3.4N・mの範囲**に必ず設定してください。
  尚、クラッチ回転速度を**「低速」にしないで**ください。
  トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。

①水栓本体下部の止めねじをゆるめる。

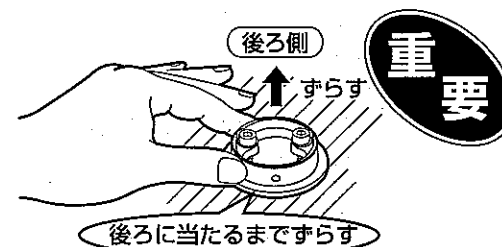
②上面施工用アダプターを外す。

③つめを閉じた状態にする。

④上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。

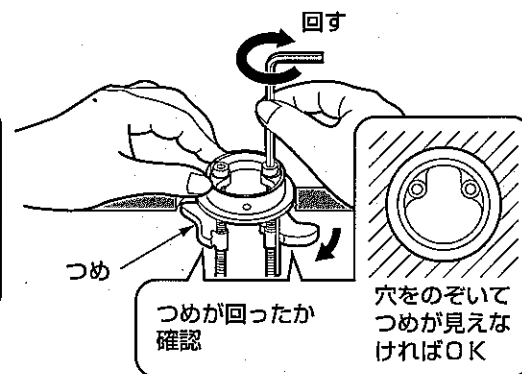
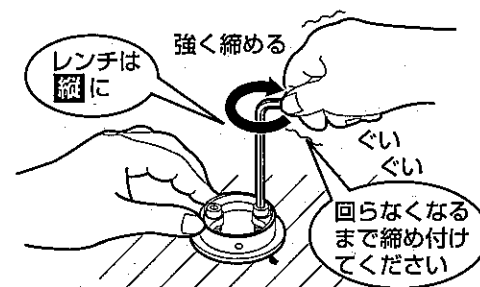
注意

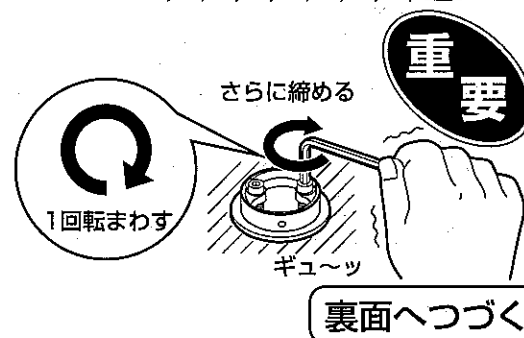
上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。

⑤**後ろに当たるまで**ずらす。

注意

後ろにずらさないと水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。

⑥つめを広げる。

注意

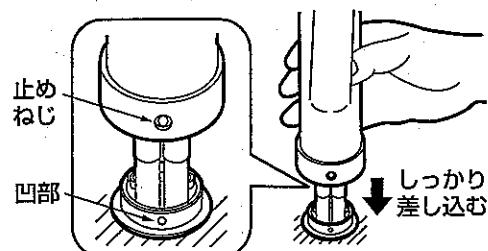
締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。

⑦六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。

⑧さらに六角棒レンチを横にしてボルトを**1回転増締めして**確実に固定する。

裏面へつづく

3 水栓本体の取り付け

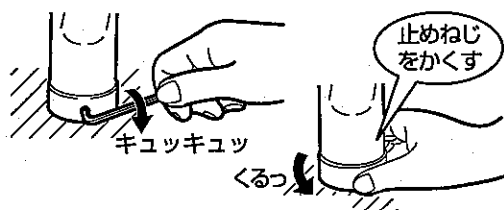
①給水・給湯ホースを通す。

②水栓本体の止めねじと上面施工用アダプタの凹部を合わせるようにしっかり差し込む。

注意

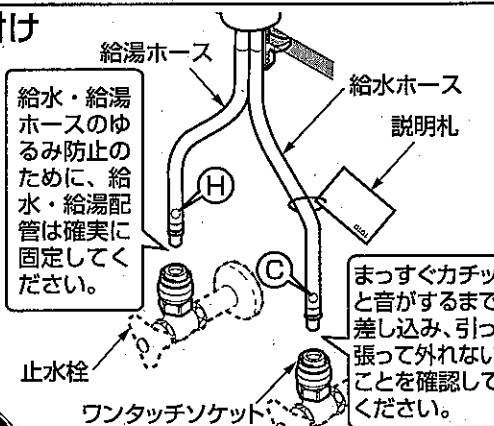
水栓本体に浮きがないよう注意してください。

※水栓が入らない場合には、止めねじを少しゆるめてください。

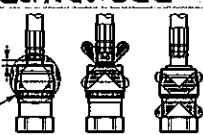
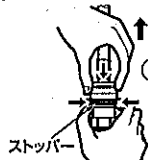
③水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。

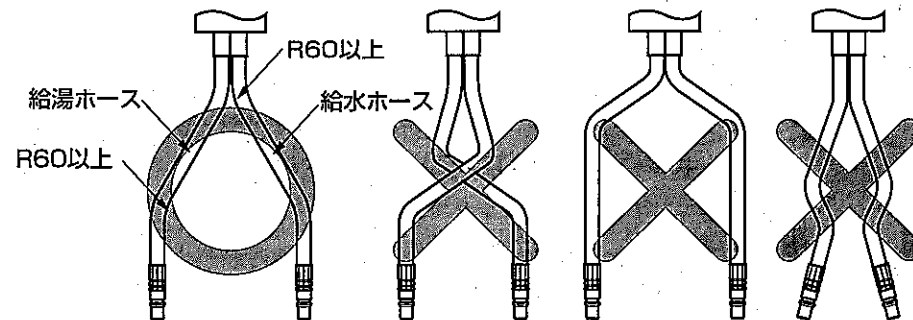
④カバーを回し、止めねじをかくす。

4 ワンタッチソケットの取り付け

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

②給水・給湯ホースに**異物の付着がないことを確認し、**ワンタッチソケットに**まっすぐ奥まで**（**カチッ**と音がするまで）確実に差し込む。

※この際、同梱の「**ワンタッチソケット取り付け方法**」の説明札を必ずホースに通してください。

取り付け後の確認 重要

- **ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと**
- **奥まで確実に差し込まれていること**

〈ワンタッチソケットを取り外す場合〉

給水・給湯ホース施工上の注意点

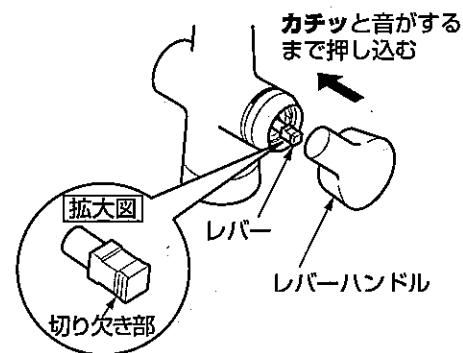
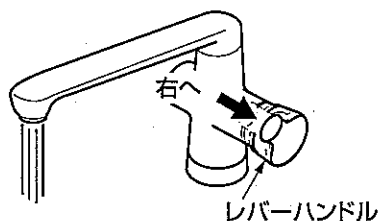
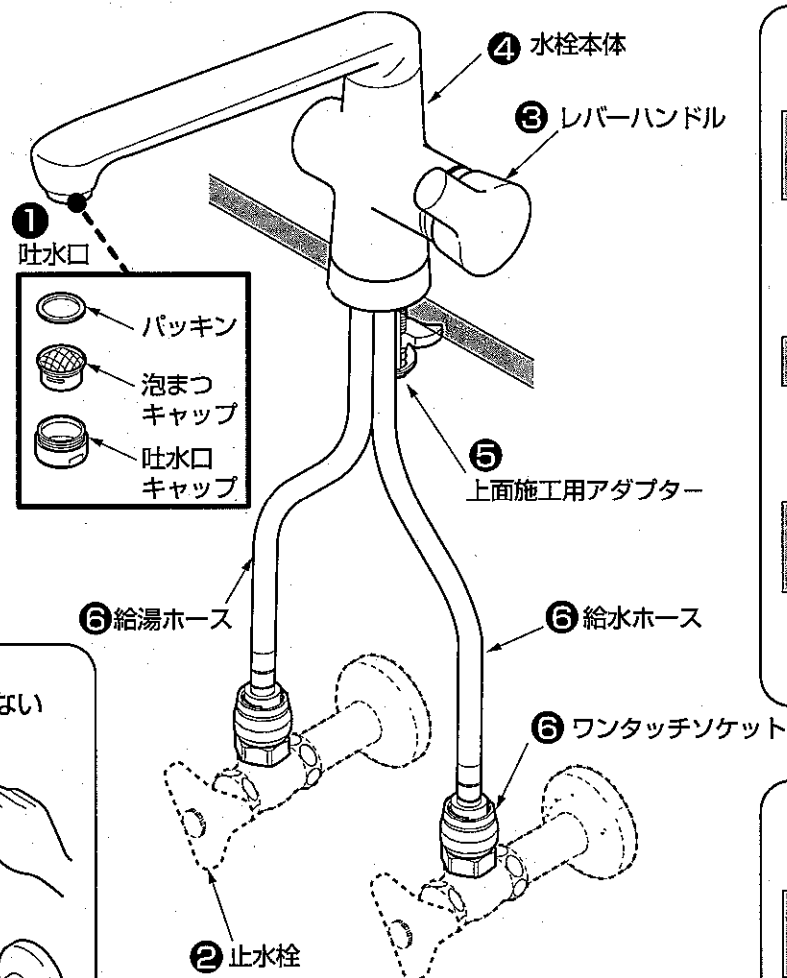
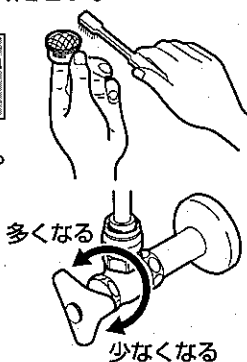
- ホースを**必要以上の力で曲げて 折らないように**注意してください。
  万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。
  ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。
  ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。
  外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

5 レバーハンドルの取り付け

①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。
レバーの切り欠きは両サイドにあります。

7 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。
水出し確認
配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。
右へ
レバーハンドル
流量および吐水温度の確認
流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。
❶吐水口のごみ詰まりはないですか？
吐水口の掃除をする。
❷止水栓は開いていますか？
止水栓で流量を調節する。
多くなる
少なくなる
❶ 吐水口
パッキン
泡まつキャップ
吐水口キャップ
❹ 水栓本体
❸ レバーハンドル
❺ 上面施工用アダプター
❻給湯ホース
❻給水ホース
❻ ワンタッチソケット
❷止水栓
ガタツキの確認
ガタツキがないか確認してください。
❸レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？
6-3 － 5「レバーハンドルの取り付け」参照
❹止めねじのゆるみはないですか？
6-3 － 3「水栓本体の取り付け」参照
❺上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？
6-2 － 2「上面施工用アダプターの取り付け」参照
水漏れの確認
水漏れがないか確認してください。
❻給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？
6-3 － 4「ワンタッチソケットの取り付け」参照

8 使用上の注意

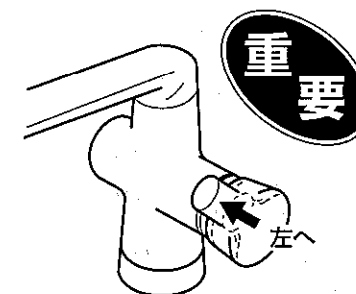
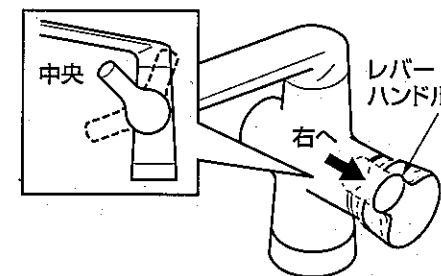
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。 この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいているためで、故障ではありません。
使い始めにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。
2. レバーハンドルを中央位置で右へ動かし、水栓内の水を抜く。

3. 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを左へ動かす。
(水が出ない状態)

※同梱の取扱説明書および浄(清)水器取り付け用ソケットは、必ずお客様にお渡しください。